

クラス番号	907	担当教員名	寺澤 法弘
テーマ	精神疾患体験者からの学び SW への一步を踏み出そう		

## ゼミナール概要

現在は多くの方が一生のうちで何らかの精神疾患を体験するか、身近な人が精神疾患を体験する世の中になってきました。人が社会で生きていく以上、他者とのコミュニケーションは不可欠ですが精神疾患を発症したことによって周囲の人が離れていく辛さを味わう場合があります。疾患の苦しみとは症状だけでなく、そのように社会で過ごす上での人との関わりにおいて生じる苦しみも大きいと考えています。

本ゼミでは精神疾患を持つ当事者とその家族に焦点をあてることによって、当事者と家族を理解する方法を身につける、当事者や家族を支援する多職種への理解を深めることを目指します。結果的に福祉・保健・医療の関連領域への考察を深める力を身につけることが目標です。

各自が興味を持つテーマを設定しグループで事前の学習を進め現場へ出かけて話を聞かせて頂きます。その報告をゼミ内で行うことを中心に据えます。その過程で必要な力を身に着ける取り組みをゼミ内で行います。

授業計画（基本的にはゼミ生と相談して具体的なことを決めます）

<前期>

- (1) 当事者を理解する為に事前学習をおこないグループごとに発表します。
- (2) 当事者中心グループ・家族会のお話を聞きます。
- (3) 学生が関心あるテーマ毎にグループを作り、出掛けて活動から学びます。
- (4) 代表グループが医療福祉コース合同ゼミにて上記の体験による学びの成果を発表します。

<後期>

- (1) 医療・保健・福祉における専門職についての学習を深めます。
- (2) グループ毎にテーマを設定し現場へ出掛けていきます。
- (3) 代表グループが医療福祉コース合同ゼミにて上記の体験による学びの成果を発表します。
- (4) 創作事例によるカンファレンスを開催することで職種連携について学びます。

\*前期と後期の各1回づつ、精神疾患の当事者お二人にお越しいただき交流します。

\*WRAP（元気回復行動計画）を体験します。

希望者には夏季休暇等を利用して、私が取り組んでいる実践(WRAP、SST)に同行したり医療機関や家族会を見学する相談に応じます。2014年度は「お客さんとしてサービスを受ける施設見学ツアー」として名古屋市内のリサイクルショップ、食堂、ケーキ屋を営む精神保健福祉関連の事業所を訪問しました。2015年度は精神科クリニックでのSST実践を見学しました。

## 担当教員からのメッセージ



私は主に名古屋市内でSW（精神保健福祉士・社会福祉士）として精神保健福祉分野で実践を積んできました。多くの人に出会いましたが「疾患を経験したからこそ体験できる事もある」との精神疾患体験者の言葉をお聞きしたことがあります。SWとして実践する中で人が生きる上での大切な事を学ぶことが出来ました。SWとはそのようなことを体験できる職業です。私は皆さんと一緒に「何らかの困難なことを体験しつつも人が生きていくこと」の凄さを学びあえることを楽しみにしています。大学内に留まるのではなく、学外へ積極的に出掛けて様々な体験から学びましょう。ゼミをどうしてそのお手伝いをしたいと考えています。